

新しい市役所づくりの4つの基本姿勢

01

即戦力人材の採用と育てる人事戦略 / 人材育成

採用方法の柔軟化により、政策課題に対応可能な人材を広く集めるとともに、学びの機会を増やし、市民のためにやりがいをもって働ける職場を創ります。



市役所職員の育成強化

市役所外との人事交流促進

若手・中堅職員を対象に国や市内民間企業との人事交流・派遣を促進

市役所内の研修充実化

市役所内での研修充実化により、課題解決に必要な知識とスキル習得のための環境を整備

市役所外での学び直し支援

職員の大学や大学院等（通信制含む）での学び直しを支援

柔軟かつ最適な人材配置の推進

オープンポスト制度の導入

市役所の各ポストを公募する「オープンポスト制度」を導入し、職員のやりがいを高める

政策課題に合わせた柔軟な人事異動

政策課題の状況にあわせ人事異動の時期を柔軟化し、適材適所で素早く課題に対応出来る体制を整備

地域貢献応援制度(副業)の解禁

職員の営利企業への従事等を限定的に認め、職員が知識・経験等を生かして市民の立場で地域の課題解決に取り組むことを奨励

地域担当職員及び地域会議の設置

地域住民の声を集める「地域担当職員」を設置。また、同職員、地域の関係者、市役所担当者による「地域会議」を定期開催し、地域課題の共有や解決へ向けた議論を実施

多様な人材の採用・登用促進

採用方法の柔軟化

通年採用の実施や WEB 面接の実施、採用試験年齢制限の廃止により、年齢や居住地に関わらず意欲と能力のある人材を採用

副市長2人体制の導入

テクノロジーの進化をはじめとする急激な社会の変化や多様化する課題を先取りして対応出来る市政の構築に向け、副市長ポストを2名とし、公募による選考を実施

民間人材の登用

デジタル、マーケティング、外部発信 (PR) など、専門的な知見が求められる領域で、積極的に民間から人材を採用

職員が力を発揮出来る組織創り

優先度の高い業務に注力出来る環境整備

総事業数の上限設定等により、職員がより優先度が高く重要な事業に集中出来る環境を整備

縦割りを越えた庁内横断チームの編成

部局横断的な政策課題に対して、プロジェクトチームを編成し、縦割りを越え、組織一丸となって課題解決に注力出来る体制を構築

市のビジョンに沿った人事評価

かすみがうらの市のビジョンや全体戦略に人事評価制度を連動させることで、職員が同じビジョンと目標に向かって注力出来る仕組み作りを推進

金子としあきの活動はウェブでも発信中！

金子としあき後援会 明晴会

〒315-0077 茨城県かすみがうら市高倉1番地

Tel.080-5875-9466

FAX.0299-23-8009

info@kanekotoshiaki.com

kanekotoshiaki.com

金子としあき



金子としあきとともに考え、多くの活動を通して、笑顔で楽しいまちづくりを進めてくれる仲間を募集しています。



金子としあき

ふるさとへの恩返し
ともに前へ

医師
33歳
討議資料

私・金子敏明は志筑小・千代田中・土浦一高を卒業し、東京の大学へ進み、その後、医師となりました。内科医として働くと同時に、厚生労働省の職員として、国の医療や健康政策に係る仕事に取り組んでいました。しかし、東京での安定した生活や地位ではなく、故郷であるかすみがうら市に戻り、石岡第一病院で働く道を選びました。

それは、なぜか。故郷かすみがうら市への「感謝の想い」からです。数年前、東京で仕事をしていた中で偶然、非常勤医師として石岡第一病院内科で働く機会をもらいました。そのとき、私は目の前でひとりの患者さんが、笑顔になっていく様子を見て、とても充実した思いを持ちました。

東京で厚生労働省の職員として政策をつくるよりも、有名な病院で医師として働くよりも、かすみがうら市に住む皆さん、一人ひとりの笑顔が見たいと強く感じました。

思えば、私・金子敏明は、かすみがうらの皆さんに育てていただいたのです。

千代田町長を務めた祖父・金子政美も、祖母も両親も妻も、そして私自身も。

だからこそ、私は自分ひとりの人生を歩むのではなく、**故郷かすみがうらの皆さんとともに、人生を歩んでいきたい。**そう思い、愛すべきふるさとである、かすみがうら市に帰ってきました。

医師として働く中で、恩返しの想いはさらに強くなりました。**コロナへの対策、千代田・霞ヶ浦地域の高齢化、農業の跡継ぎや近隣自治体との関係性など、かすみがうら市が抱える課題は増える一方です。**

私の大好きなかすみがうら市を**これからも、素敵な街として未来に紡いでいきたい。**

そして、かすみがうら市に住む皆さんと一緒に、笑顔で楽しい人生を歩んでいきたいと、強く感じています。

金子敏明

5 柱

これからを創る

- 1 「患者・市民第一」の感染症対策**
医師としての経験を活かし、周辺自治体との連携などを通じて、必要な時に必要な医療資源(ワクチン、検査、入院など)を提供します。
- 2 安心して生涯を全うできる医療・介護**
運動の習慣化や検診(健診)率向上などの予防医療、医療・歯科・介護体制の充実を通じ、安心して生涯を全うできる街を実現します。

- 3 「つながり」と「にぎわい」が生まれるまちづくり**
広域公共交通による「快適な移動」の実現。スマートIC周辺の拠点整備や廃校利活用、憩いの場づくりなどで「にぎわい」を生み出します。
- 4 子どもの可能性をのばす教育・子育て**
一人ひとりの好奇心や探求心に応じた公教育の充実や地域での体験・交流を通じて、子どもたちの可能性をのばす学びの街を創ります。
- 5 「かすみがうら型」農水産業の実現**
守り(後継ぎ不足や鳥獣被害などの解決)と攻め(稼げる農水産業)の両面施策により、持続可能で魅力的な、市ならではの農水産業を実現します。

テーマ 「感染症対策」

1 of 5 「患者・市民第一」の感染症対策

医師としての経験を活かし、周辺自治体との連携などを通じて、必要な時に必要な医療資源(ワクチン、検査、入院など)を提供します。



検査体制

- ✓ **抗原キットの配布**
濃厚接触者以外の有症状者に対して、保健センター等で抗原キットを配布し、その場で検査を行うとともに、検査について適切な啓蒙を実施

陽性者への迅速な対応

- ✓ **検査陽性者の支援**
医療機関と連携体制を構築し、上記検査で陽性だった場合には、適切な受診を支援



コロナ治療の充実

- ✓ **迅速な入退院調整**
現行、茨城県コロナ本部のみで行っている入退院調整の一部機能を医療現場と市役所でも担い、より迅速な入退院調整を実現。治療開始までの時間を短縮し、治療効果の向上

NEXTコロナへ向けた体制構築

- ✓ **感染症対策の一体化**
感染症による災害医療に迅速に対応するため、土浦保健所や医療機関と連携し、土浦医療圏域の会議体を設置
- ✓ **感染症専門家との連携**
市民の感染症への理解を促進し感染拡大を未然に防止するため、保育園や小中学校、介護施設などが感染症について迅速に相談できるよう医療機関と連携できる体制を構築
- ✓ **保健人材への投資**
市民へのアドバイザーとなりうる市の保健師など保健衛生を担う人材への研修等の学びの機会の増加

テーマ 「医療・介護」

2 of 5 安心して生涯を全うできる医療・介護

運動の習慣化や検診(健診)率向上などの予防医療、医療・歯科・介護体制の充実を通じ、安心して生涯を全うできる街を実現します

病気にさせない・重症化させない医療

- ✓ **HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)拡充**
HPV ワクチンの無料接種対象年齢の拡充、及び男性の接種について市独自の助成を検討
- ✓ **HPVワクチン未接種者への支援**
HPV ワクチンの積極的な勧奨が中止された間に接種機会を逃した市民に対して、時限的な公費接種を享受出来るよう、制度内容やワクチンに対する正しい知識の周知を進める
- ✓ **こどものインフルエンザ予防接種の全額助成化**
こどものインフルエンザ予防接種の全額助成により、家庭負担を軽減
- ✓ **生活習慣病・がんなどの早期発見の促進**
受診会場の充実化やナッジ理論(=受診したいという気持ちを喚起する手法)などを用い、特定健診及びがん検診の受診を促すことにより、適切な医療機関への受診を橋渡し
- ✓ **データに基づく生活習慣病への適切な介入**
市保健師と医療データ分析に明るい民間企業との連携を通じ、特定検診等で得られたデータに基づく客観的且つ効果的な特定保健指導を実施
- ✓ **歯科口腔医療の充実**
歯と口腔の疾患の予防に取り組むとともに、早期に歯と口腔の疾患を発見し、治療につなげるため、「歯と口腔健康づくり推進条例」の制定と口腔がん検診を実施

いつでも、必要な時に受けられる安心な医療

- ✓ **ICT等による医療相談の充実**
ICT(情報通信技術)等を活用した医療相談を充実させ、病院受診の補助的な手段を拡充
- ✓ **医療機関への交通手段の確保**
市民がよく利用する医療機関をデマンドタクシーの経路とすることで、医療機関への交通手段を確保
- ✓ **市内への総合病院の誘致**
市内に総合病院を誘致することにより、地元で安心して医療を受けられる環境を整備
- ✓ **産婦人科の設置・小児科の拡充**
安心して出産・育児が出来るよう、周辺市と連携しながら産婦人科の設置と小児科の拡充を推進
- ✓ **医師の確保**
市による医科大学への寄附を通じて、大学と病院に寄附講座を設置し、教員及び医師を配置

プッシュ型(=能動的な働きかけ)による高齢者ケアの推進

- ✓ **高齢者向けの安否確認サービスの充実**
IoT(=電子メーターなどのインターネットにつながった電子機器)の活用を通じて、人による見守りの負担を減らしつつ効果的な高齢者の方々の安否確認・見守りサービスを実現
- ✓ **健康促進・介護予防**
ウェアラブルデバイス(=装着もしくは着用出来る電子機器)の活用を通じて、高齢者の体調をつぶさに把握することで健康促進・介護予防につなげる取組み(産官学による実証実験など)を推進
- ✓ **市内事業者との連携**
スーパーマーケットなどの市内事業者との連携を通じ、高齢者の状況にあわせたサポートを実施

最期まで自分らしくいられる医療・介護体制

- ✓ **在宅療養支援診療所等の誘致**
かすみがうら市及び周辺市の医療需要に応じて、在宅療養支援診療所等の誘致のため、開業資金の貸与を検討
- ✓ **認知症高齢者及び家族へのサポート強化**
医療機関と認知症初期集中支援チームの連携を強化し、認知症初期事例や対処困難例について速やかな覚知と介入を推進
- ✓ **認知症高齢者による事故リスクへの対応強化**
在宅の認知症患者などが起こす事故への損害賠償について、市が保険料を負担して保険に加入し、万一の場合に本人・家族を救うことを検討
- ✓ **家族による同居等への財政支援**
高齢者のご家族の近居及び同居に関する財政支援を通じて、親子の物心両面の負担軽減を検討
- ✓ **介護の質向上**
介護職の医療的ケアについての知識習得及び技術の向上を図るとともに、先進的な手法の普及(ユマニチュードに関する研修の実施等)を通じて、市内全体での介護の質を引き上げ
- ✓ **介護施設等の報酬引き上げ**
地域加算の柔軟な適応について国に働きかけるなどして、介護施設等の報酬を引き上げ、市内にて介護施設等を運営しやすい状況を整備
- ✓ **介護スタッフの待遇改善**
介護スタッフの方へ居住・アパートの補助制度等を検討し、待遇を向上